



Princeton University, Department of Mathematics

Yakov G. Sinai

ヤコフ・G・シナイは1935年9月21日、ロシアのモスクワで生まれた。両親であるグレゴリー・シナイとナデズダ・ケーガンはともに優れた業績のある微生物学者であった。祖父の数学者、ベニヤミン・フォードロヴィチ・ケーガンはモスクワ大学の微分幾何学科長であった。ケーガンは孫に多大な影響を及ぼした。彼は、孫のヤコフ・グレゴリエヴィチが力学数学部に入学した1952年に、その職を退いた。

ヤコフ・シナイは、1957年に学士号、1960年にPh.D.相当の学位、そして1963年に博士号をモスクワ大学から授与された。彼の顧問は高名なアンドレイ・コルモゴロフであった。1960年から1971年まで、シナイはモスクワ大学の確率統計学研究室の研究員であった。1971年にモスクワ大学教授及びロシア科学アカデミー附属ランダウ理論物理学研究所の上級研究員になった。1993年以来、米国、プリンストン大学の数学の教授であるが、現在もランダウ理論物理学研究所における地位を保持している。1964年に設立されたランダウ研究所はモスクワの北東40キロほどのチェルノゴロフスカにあって、ランダウ学派の伝統における科学のネットワークの中心となっている。

1997年から1998年にかけて、ヤコフ・シナイはプリンストン大学のトマス・ジョーンズ・プロフェッサーであり、2005年にはカリフォルニア州パサデナのカリフォルニア工科大学のムーア特待著名研究者であった。



ヤコフ・シナイは 20 世紀における最も影響力のある数学者の一人である。彼は力学系の理論、数理物理学、確率論において数多くの画期的な成果を挙げた。コルモゴロフ＝シナイのエントロピー、シナイのビリヤード、シナイのランダム・ウォーク、シナイ＝リュエル＝ボーエン測定、ピロゴフ＝シナイ理論など、数学における多くの成果に彼の名が冠せられている。シナイは、数学と物理学の両方の学界において、決定論的（力学）系の世界と確率論的世界をつなぐ橋の殆どを架けた「建築家」として高く評価、尊敬されている。彼が「数学者と物理学者＝猫と犬？」（“Mathematicians and Physicists = Cats and Dogs?”¹）という論文を書いたのは必然的なものかもしれない。

過去半世紀にわたってヤコフ・シナイは 250 以上の学術論文と何冊かの書物を著してきた。またシナイは、妻であり数学者・物理学者であるエレナ・B・ヴールとの共著の論文も幾つか発表している。シナイは 50 人以上の博士課程の学生を指導した。

初期の深遠な学術的貢献により、シナイは 1962 年、ストックホルムにおける国際数学者会議での講演に招かれた。以来、幾つかの重要な国際学会に基調講演者として招かれ、世界中で一流の講演を数多く行ってきた。彼は国際数学会で四回、講演している。また、2000 年には第一回ラテンアメリカ数学会における総会基調講演者であった。2001 年には国際数学者連合のフィールズ賞委員会会長に任命され、翌年の北京での会議における受賞者の決定に携わった。

賞と榮譽

ヤコフ・シナイは多くの著名な国際的な賞を受賞してきた。2013 年、彼は米国数学会からルロイ・P・スティール賞生涯の業績部門を授与された。その他にウルフ賞数学部門（1997 年）、ネマーズ賞数学部門（2002 年）、数理物理学国際協会からアンリ・ポアンカレ賞（2009 年）、ロシア科学アカデミー情報伝達問題研究所からドブルーシン国際賞

